



こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 5月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2013年5月25日発行(発行責任者 島貫房雄)

栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330

<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>

★今年も「ウッドランドクラブ」はいろいろ企画していきます

●第一回目は4月28日にこもれびの森(一桧山県有林)で「野鳥観察&春の自然観察会」が行われました。森の中では「クマ棚」を見つけて参加者は大興奮! スカシダワラやテンの糞、ヤドリギまで発見。野鳥も十数種類、見つけることが出来ました。帰りには炭焼きの跡も見学し、森林科学館へ無事全員帰還しました。

●5月19日、「春の山野草観察会&山菜を味わう会」がすっかり春の雰囲気になったこもれびの森で行われました。総勢47名で道端のコゴミやシドケなど食べられる野草や毒性のあるコバイケイソウやトリカブトも観察しました。(同じ場所に生えているニリンソウとトリカブトは葉がそっくりで注意が必要です) 昼食には山菜の天ぷらに下鼓をうち、石窯ではピザを焼いて楽しみました。お勉強コーナーでは、特別参加の北部地方振興事務所の先生から「栗原市の山菜・・・」についてのお話もあり、お腹いっぱい、知識いっぱいの有意義な一日でした。



スカシダワラも見つけました



クマ棚も発見 !!



「これは食べられない・・・」



「さあ、焼けたかな !!」



今頃の野鳥で美しいルリ色のオオルリは大人気。築館在住の野鳥写真家O氏は愛用のカメラでパチリ。オオルリは高い木の梢でさえすることが多いので良く目立ちます。(写真はみ)

夏鳥として九州以北の丘陵や山地に渡来し、切り立った崖などに営巣します。溪谷近くの林や低山を好みますので森林科学館周辺は最適地なのでしょう。



これは雄花



こちらは雌花です

しま所長のコラム

左の写真は春の山野草では超有名な「フキ」です。フキは雌雄別花であることもご存じだと思いますが、葉の形で簡単に雌雄の区別ができるのです。細身の葉が雄花で幅の広い方が雌花です。こうやって植物の雄と雌を見比べるのも楽しいですね。

・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内 !

●6月9日(日) カブトムシの飼い方講座・・・幼虫もゲットできるよ

●7月28日(日) 川遊び&自然観察とディキャンプ、ソーメン流しもやります

※毎回、定員は30人程度、10:00~13時半、場所は森林科学館とその周辺

※参加費500円、持ち物などお問い合わせ、申し込みはお電話かFAXでお願いいたします。

★14期生の皆さま、こもれびの森にもどうぞおいで下さい。活動や企画持ち込み大歓迎です!